

太陽光発電 小型端末計測表示システム

Solar Link ZERO

施工説明書

SLZ-232 C



Solar Link ZERO をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

まずはじめに、本ソフトウェアおよび機器をご使用頂く上での注意点をよくお読み頂き、十分に注意してご使用ください。

本書では、特にご注意頂きたい事項に下記のマークを記載しています。

本書の中で、これらのマークがありましたら、記載内容をよくお読み頂き、十分に注意してください。

マーク	内容
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害の可能性が想定される内容を示しています。

安全上のご注意



本書に記載されている内容は、安全に本機器を設置しご使用頂くために重要な内容です。

よくお読み頂き、設置工事、設定、運用など全てにおいて遵守してください。

→これらを守らないと、重大な事故や財産の損害の恐れがあります。

→これらを守らないで発生した故障や破損については保証対象外となりますので十分にご注意ください。

本機器を、右表の場所に設置しないでください。
→感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。
また、機器の故障や破損の原因になります。

本機器を設置してはいけない場所:

- ・湿気やホコリが多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・最高気温が40℃を超える場所
- ・熱の発生する場所(ストーブ・ヒーター等)の近く

本機器の内部に水や異物を入れないでください。
→感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。
また、機器の故障や破損の原因になります。
→万が一、機器内部に水が入ったときは、直ちに電源アダプタを抜いて、「お問い合わせ先」に記載の連絡先に連絡し、指示にしたがってください。

本機器から異音、発煙、異臭などの異常が発生した場合は、直ちに「お問い合わせ先」記載の連絡先まで連絡して頂き指示にしたがってください。
→異常を放置して使用し続けると、感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。
また、機器の故障や破損の原因になります。

電源コードを折り曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないでください。
→感電や漏電の原因となり、火災を引き起こす恐れがあります。

本機器の分解、改造、変更を行わないでください。
また、お客様による修理を行わないでください。
→感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。
また、機器の故障や破損の原因になります。

指定の電源アダプタ以外は使用しないでください。
→感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。
また、機器の故障や破損の原因になります。

本機器の配線、コネクタ、プラグは確実に差し込んでください。
→感電や漏電の危険があり、火災の原因になります。
また、機器の故障や破損の原因になります。

本機器に落下や衝撃などの強い振動を与えないでください。
→機器の故障や破損の原因になります。

ぬれた手で電源プラグにさわらないでください。
→感電の原因になります。

本機器は日本国内専用です。
海外では使用しないでください。
→機器の故障や破損の原因になります。



<p>付属の専用 USB メモリ以外を使用しないでください。 →守らない場合、機器の故障、破損、データの損失の原因になります。</p>	<p>USB メモリを取り外す際は、正しい手順で行って下さい。 →正しい手順で行わない場合、USB メモリが認識されない、データ破損などのトラブルが発生する可能性があります。</p>
<p>USB メモリを Solar Link ZERO 本体から抜き差しする際は、必ず、Solar Link ZERO 本体の電源アダプタが抜かれていることを確認してください。 →守らない場合、機器の故障、破損、データの損失の原因になります。</p>	<p>USB メモリ内の設定ファイル(計測データ以外のファイル)を削除しないようご注意ください。 →削除された場合、計測が正しく行われない恐れがあります。</p>
<p>USB メモリ内のデータを、バックアップをとる前に削除しないようご注意ください。 →削除されたデータを回復することはできません。</p>	<p>計測データは、定期的にバックアップをとり保存してください。 →万が一、機器にトラブルが生じ、記録内容の修復が不可能になった場合、 当社は一切その責任を負いません。 →計測データは、少なくとも1年に1回以上バックアップを行うことを推奨します。 →USB メモリ内の計測データはバックアップを行った後、USB メモリ内から消去してください。 (計測に支障はありません。) →基本的に USB メモリ内の計測データは蓄積されます。USB メモリの保存可能容量を上回った場合、上書きは行われず、新しい計測データは保存されません。また、不具合の原因にもなります。 →USB メモリの耐久性の観点から、使用開始後約3年での USB メモリ交換を推奨します。</p>
<p>USB メモリ内の設定ファイル(計測データ以外のファイル)を削除しないようご注意ください。 →削除された場合、正しく計測が行われない恐れがあります。</p>	
<p>メンテナンス時以外は、Solar Link ZERO 本体の電源を切らないで下さい。 →約3日間(保管環境により日数は前後します。)電源が供給されなかった場合、日付と時間の設定が初期化されます。初期化された場合は、「時計合わせの設定」P.11 をする必要があります。</p>	
<p>USB メモリが Solar Link ZERO 本体に接続されている状態で、Solar Link ZERO 本体が起動し、計測を開始しているとき以外の計測データは保存されません。 →Solar Link ZERO 本体が停止状態の時、Solar Link ZERO 本体に電源が接続されていない時、USB メモリが接続されていない時、時計合わせの設定がされていない時、パワーコンディショナーが起動していない時、パワーコンディショナーのアドレス設定が正しくない時、パワーコンディショナーとの通信が正しく行われない時、以上の場合、計測データは保存されません。</p>	<p>USB メモリを PC から取り外す際は、正しい手順で行ってください。 →正しい手順で行わない場合、USB メモリのデータ破損等のトラブルが発生する可能性があります。</p>

使用上のご注意



<p>USB メモリ内の計測データは、少なくとも1年に1回以上バックアップを行うことを推奨します。 (→別紙「取扱説明書」参考)</p>	<p>USB メモリ内の計測データはバックアップを行った後、USB メモリ内から消去してください。 →基本的に USB メモリ内の計測データは蓄積されます。USB メモリの保存可能容量を上回った場合、上書きは行われず、新しい計測データは保存されません。また、不具合の原因にもなります。 →USB メモリの耐久性の観点から、使用開始後約3年での USB メモリ交換を推奨します。</p>
--	--

目次

1 施工・配線に必要なもの	1
1.1 梱包物の確認.....	1
1.2 現地で用意するもの.....	2
2 各部名称	3
3 設置イメージ	5
4 接続	6
4.1 変換器とパワーコンディショナーの接続.....	7
4.2 周辺機器の接続.....	8
5 時計合わせの設定	11
6 計測の確認	12
6.1 Solar Link ZERO 本体への接続の確認.....	12
6.2 画面表示の確認.....	12
6.3 計測の確認.....	12
7 トラブルシューティング	13
7.1 データ欄が「---」、または「P1 無通信」アイコンが表示されている.....	13
7.2 真っ暗な画面である、または何も表示されない.....	14
7.3 エラー画面が表示されている.....	14
7.4 起動画面が途中で止まってしまった.....	14
著作権について	16
お問い合わせ先	16

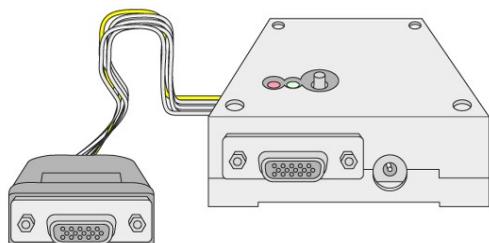
本施工説明書では、Solar Link ZERO 本体の設置から計測の開始までの手順を記載しております。
(Solar Link ZERO の操作などにつきましては、「取扱説明書」をご確認ください。)
本施工説明書を参考に、正しく設置工事・配線を行ってください。

設置工事・配線後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

1 施工・配線に必要なもの

1.1 梱包物の確認

① Solar Link ZERO 本体



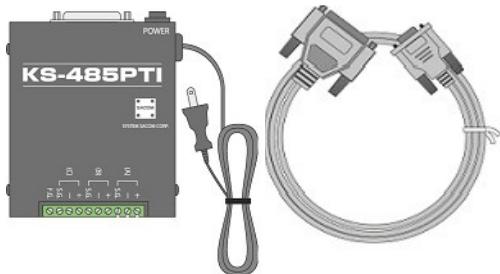
② 専用 USB メモリ



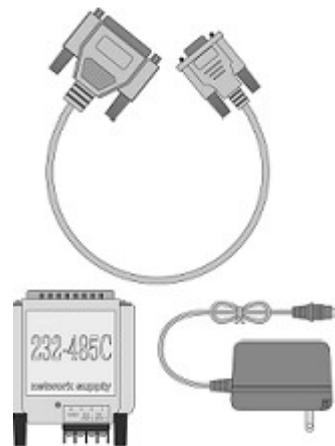
※ 計測データを保存する専用 USB メモリです。
本体の設定を変更時にも使用します。
一般の USB メモリを代替として使用することはできません。
※ 交換目安: 3 年
→ 機器交換時は弊社までご連絡ください。

③ 変換器

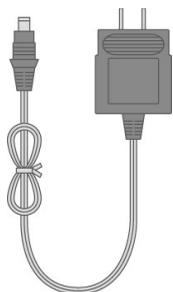
システムサコム製



または ネットワークサプライ製



④ Solar Link ZERO 本体専用アダプタ



⑤ 取扱説明書

⑥ 施工説明書(本書)

⑦ Web アプリケーション取扱説明書

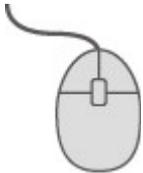
※ 交換目安: 5 年
→ 機器交換時は弊社までご連絡ください。

1.2 現地で用意するもの



Solar Link ZERO 本体の設置から計測の開始までに、以下の機器が**必要となる場合があります**。
必ず事前に必要機器をご確認ください。

マウス



※USB接続の有線タイプであること

Solar Link ZERO本体の「時計合わせの設定」P.11に必要となる場合があります。

モニタ



※RGB端子(ミニD-Sub15pin)をもつ、PC用モニタかディスプレイであること

Solar Link ZERO本体の表示確認に必要となる場合があります。

(ノートPCを代用することはできません。

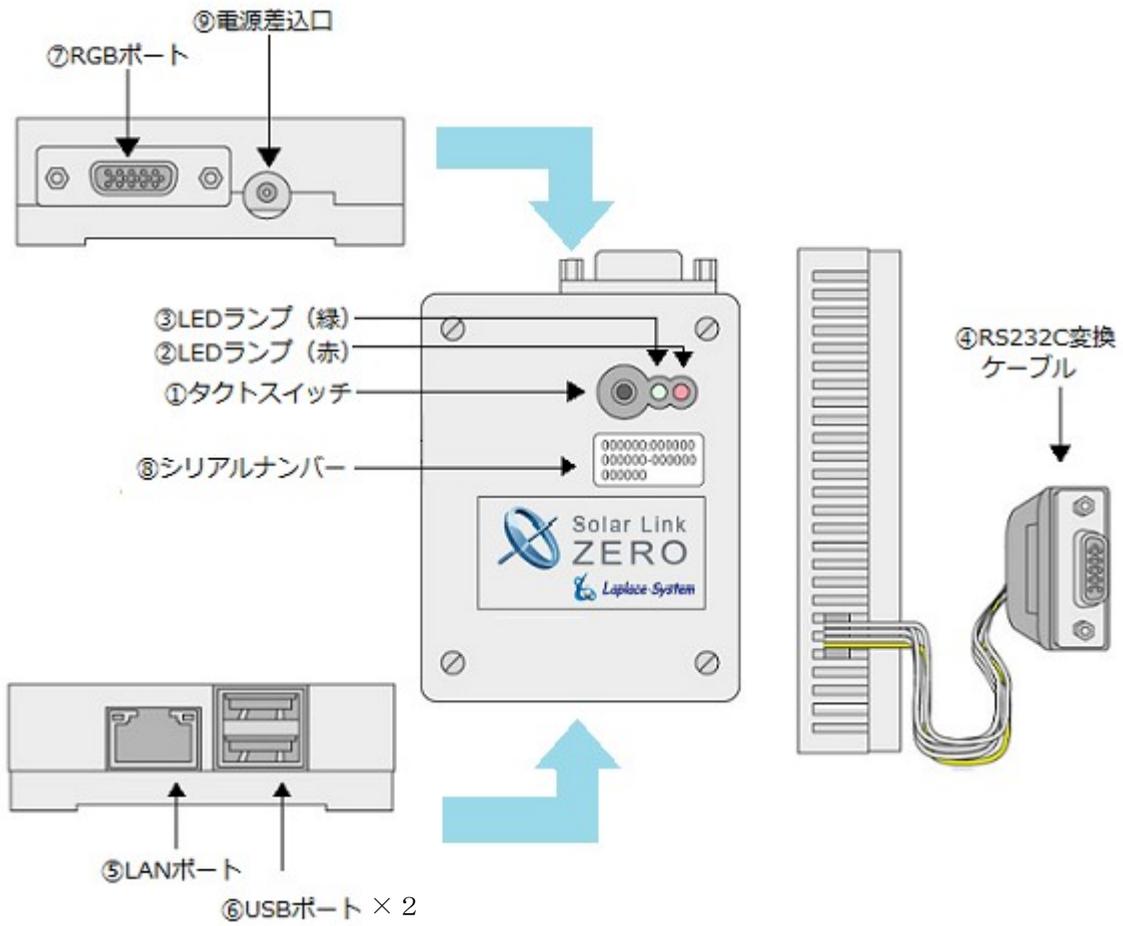
現地に表示用のディスプレイがあり、Solar Link ZERO 本体の設定をしながら画面が確認できる場合は不要です。)

RGBケーブル

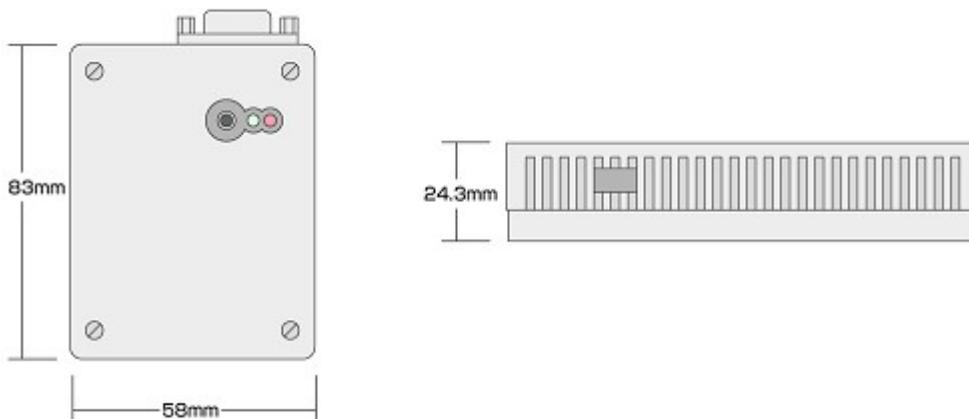
Solar Link ZERO本体の表示確認に必要となる場合があります。

(現地に表示用のディスプレイがあり、Solar Link ZERO 本体の設定をしながら画面が確認できる場合や、モニタに付属している場合は不要です。)

2 各部名称



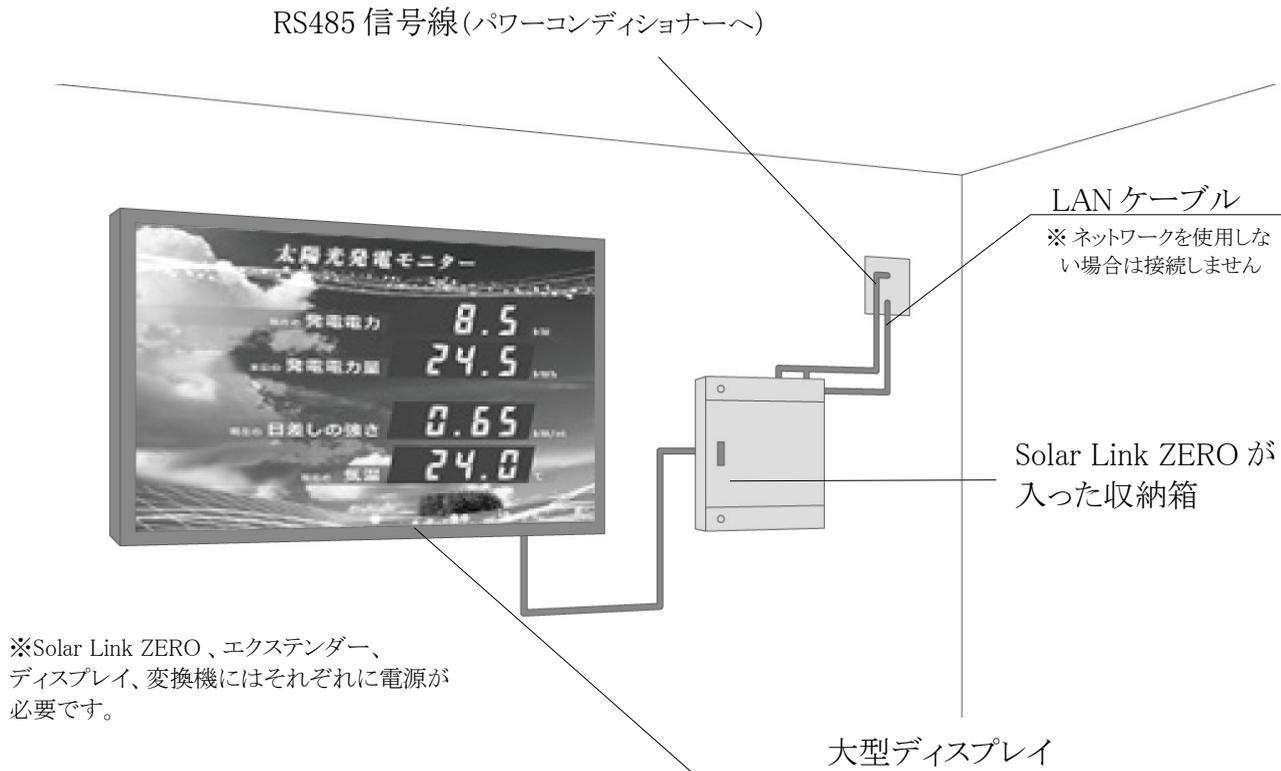
● 本体 寸法



図中 番号	名称	機能	詳細
1	タクトスイッチ (Solar Link ZERO 本体の黒色のボタン)	Solar Link ZERO 本体の再起動、停止、画面切り替えに使用します。	<p>【Solar Link ZERO 本体起動中の動作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6 秒以上長押しして離すと、Solar Link ZERO 本体が停止状態になります。(停止動作の開始から停止までには約 1 分かかります。) ・3 秒以上長押しして離すと、Solar Link ZERO 本体が再起動状態になります。(Solar Link ZERO 本体が再起動するまで約 2 分かかります。) ・1 回押すごとに画面が切り替わります。 <p>[計測表示画面／コンテンツ画面]-[発電データ画面(今年度)]-[発電データ画面(昨年度)]-[計測表示画面／コンテンツ画面]</p>
2	LED ランプ(赤)	Solar Link ZERO 本体起動時、データ作成時などの状態を示します。	<p>下記状態の時に点灯します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Solar Link ZERO 本体起動中 ・データ作成中
3	LED ランプ(緑)	パワーコンディショナーとの通信の成否状態を示します。	正常データが取得できた場合に、点滅します。取得できない場合、点灯したままの状態になります。
4	RS232C 変換ケーブル	232C の信号を Solar Link ZERO 本体専用信号に変換します。	Solar Link ZERO 本体専用の信号は TTL です。
5	LAN ポート	LAN ケーブルの接続に使用します。	LAN ケーブルを使用して PC と接続する場合、または Web アプリケーションを使用する場合に使用します(→別紙「Web アプリケーション取扱説明書」)。
6	USB ポート	USB メモリ、マウスの接続に使用します。	上下のポートがありますが、どちらに USB メモリ・マウスを接続しても問題ありません。
7	RGB ポート	画面出力を行います。	出力解像度は 800×600pixel です。
8	シリアルナンバー	Solar Link ZERO 本体のシリアルナンバーです。	
9	電源差込口	Solar Link ZERO 本体専用電源アダプタの接続に使用します。	

- LED ランプの表示内容→別紙「取扱説明書」

3 設置イメージ

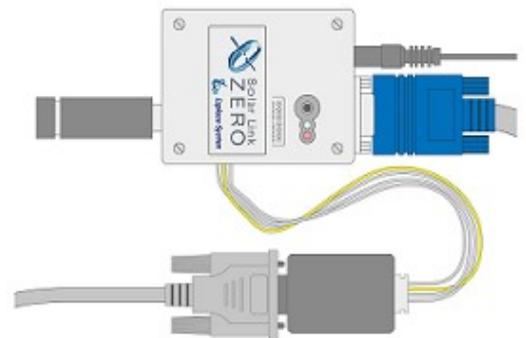


- Solar Link ZERO 本体をディスプレイ付近の壁面にとりつけます。
収納箱をご用意いただいてその中に設置することもできます。
- 下記のようにディスプレイが不要 (Solar Link ZERO 本体からの画面出力が不要) の場合は、任意の場所への取付が可能です。
 - データ計測だけが目的の場合
 - Web アプリケーションを利用して、PC から画面を閲覧する場合

● 本体の接続例

本体に下記周辺機器を接続した場合の接続例です。

- 専用 USB メモリ(必須)
- RGB ケーブル(本体からの画面出力を行わない場合は不要)
- 本体専用電源アダプタ(必須)
- RS232C-485 変換器(必須)
- LAN ケーブル(ネットワークを使用しない場合は不要)



4 接続

必要な設置環境

※用意するものは「1 施工・配線に必要なもの」P.1を参照してください

- ・パワーコンディショナーからの RS485 通信ケーブルが十分に届く場所
- ・Solar Link ZERO 本体を入れる収納箱がある場合は収納箱を設置できる広さが充分にある場所
- ・平らで滑りにくい場所
- ・Solar Link ZERO 本体と電源コンセントが Solar Link ZERO 本体専用電源アダプタを用いて接続可能な場所 (Solar Link ZERO 本体専用電源アダプタのケーブル長: 180 cm)
- ・手の届く場所 (設定変更やデータ取得をする際に、専用 USB メモリを取り外す必要があります。)



注意

※以下の場所は避けてください。

- 湿気やホコリが多い場所。
- 最高気温が 40℃を超える場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 熱の発生する場所 (ストーブ・ヒーター等) の近く。



注意

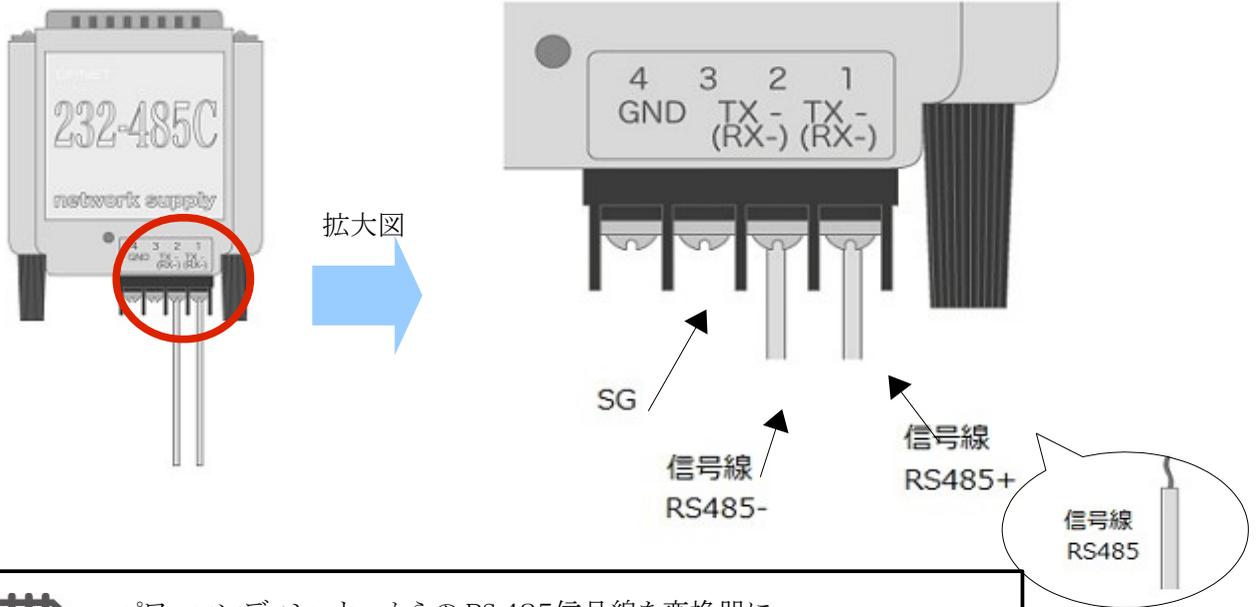
※屋外に設置する場合は、十分な防水対策がされた収納箱に収めてご設置ください。

【構内 LAN を利用する場合】下記の条件をご確認ください。

- ・Solar Link ZERO 本体に接続する LAN ケーブルが届く場所。
- ・Solar Link ZERO 本体から LAN ケーブルを介して構内 LAN につながるネットワーク HUB が準備されていること。

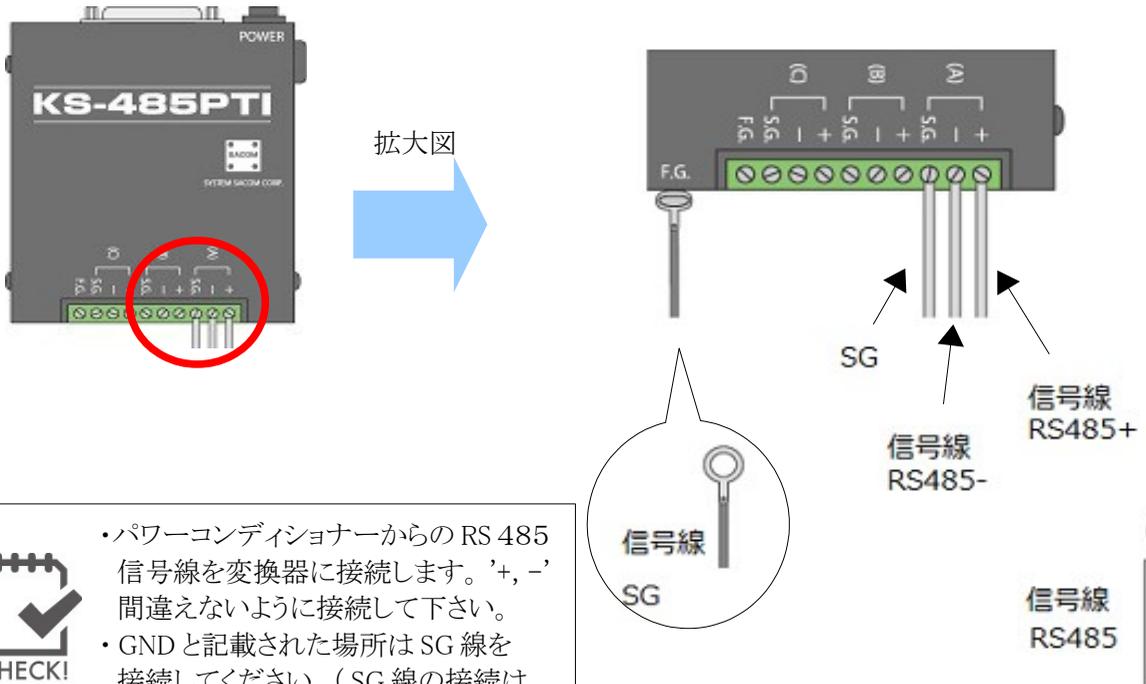
4.1 変換器とパワーコンディショナーの接続

ネットワークサプライ製の場合



- ・パワーコンディショナーからの RS 485 信号線を変換器に接続します。'+, -' 間違えないように接続して下さい。
- ・GND と記載された場所は SG 線を接続してください。(SG 線の接続は任意ですが、ノイズ対策のため接続されることを推奨します)

システムサコム製の場合



- ・パワーコンディショナーからの RS 485 信号線を変換器に接続します。'+, -' 間違えないように接続して下さい。
- ・GND と記載された場所は SG 線を接続してください。(SG 線の接続は任意ですが、ノイズ対策のため接続されることを推奨します)

4.2 周辺機器の接続

エクステンダー有りの場合

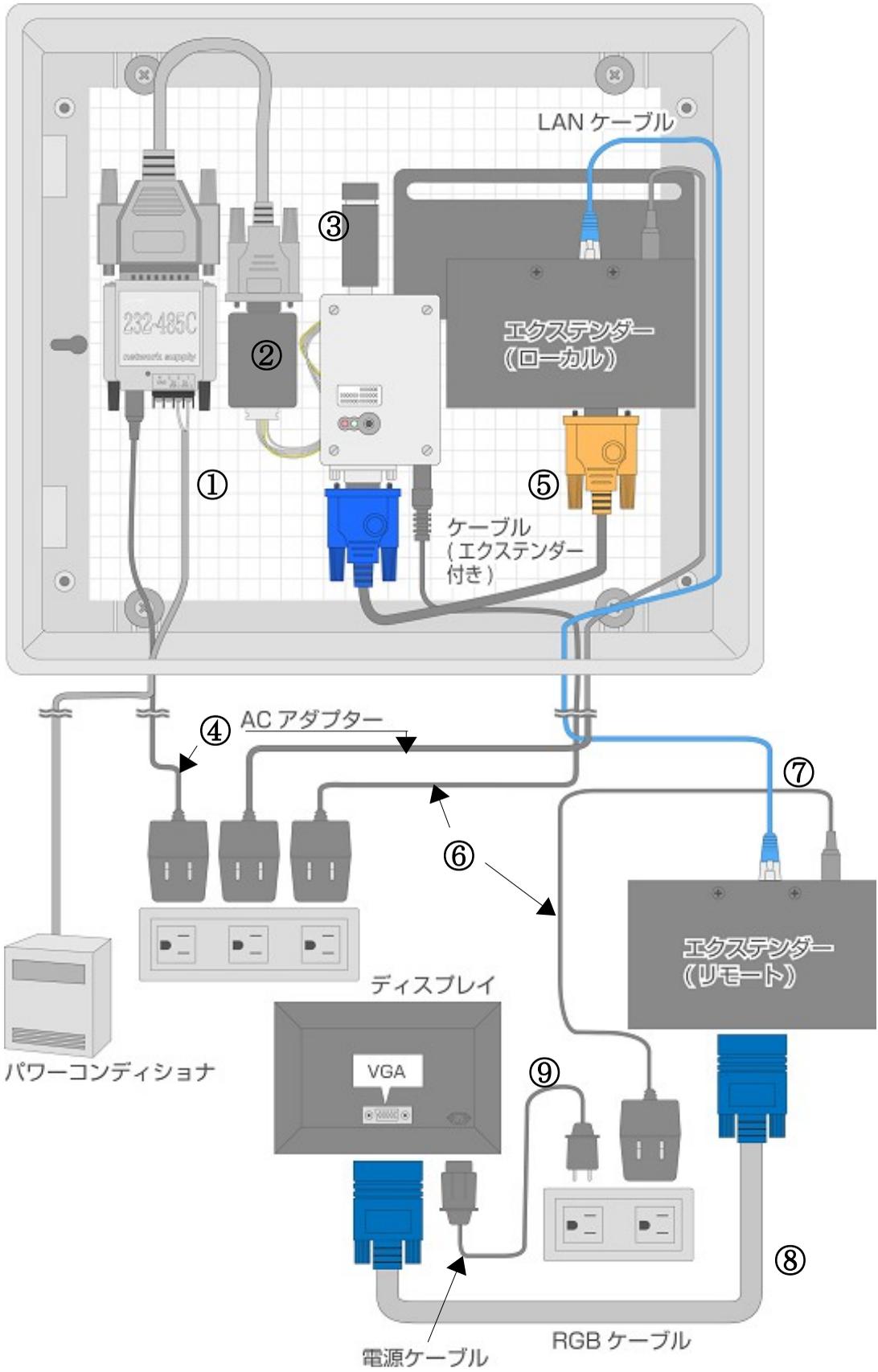
- ①変換器とパワーコンディショナーをRS485線で接続します。
- ②変換器とRS232C変換ケーブルを接続します。
- ③Solar Link ZERO本体に専用USBメモリを差します。
- ④Solar Link ZERO本体とエクステンダーのローカル側をエクステンダー付属のケーブルで接続します。
- ⑤変換器、Solar Link ZERO本体の順に専用の電源を入れます。
- ⑥エクステンダーのローカル側とエクステンダーのリモート側に付属の電源アダプタを接続します。
- ⑦エクステンダーのローカル側とエクステンダーのリモート側をLANケーブル(ストレート)で接続します。
エクステンダーのローカル側のLEDランプ(LOCAL、REMOTE)が交互に点滅していたら正常です。
エクステンダーのローカル側だけ点滅している場合は、表示切替ボタンを1度押してください。
- ⑧エクステンダーのリモート側とディスプレイをRGBケーブルで接続します。
- ⑨ディスプレイの電源を入れます。



ブレーカーを入り切りする場合はSolar Link ZERO本体の電源は入れないでください。



- ・Solar Link ZERO、変換機、エクステンダーには付属の電源ケーブルが必要です。
- ・エクステンダーはローカル(Local)とリモート(Remote)の2個で1セットです。
ローカルはSolar Link ZERO側に、リモートはディスプレイ側に接続してください。
ローカルとリモートの間はLANケーブルで接続してください。



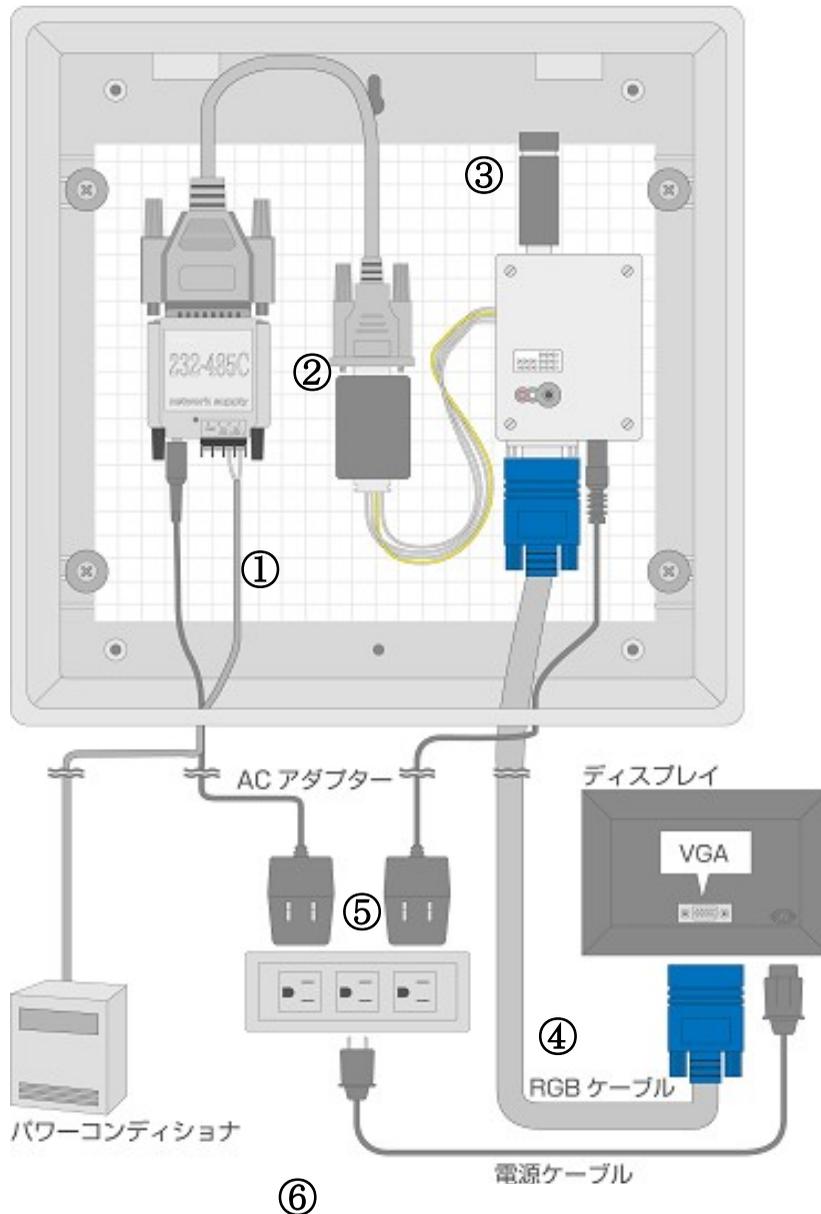
エクステンダー無しの場合

- ①変換器とパワーコンディショナーをRS485線で接続します。
- ②変換器とRS232C変換ケーブルを接続します。
- ③Solar Link ZERO本体に専用USBメモリを差し込みます。
- ④ディスプレイとSolar Link ZERO本体をRGBケーブルで接続します。
- ⑤変換器、Solar Link ZERO本体の順に電源を入れます。
- ⑥ディスプレイの電源を入れます。



ブレーカーを入り切りする場合はSolar Link ZERO本体の電源は入れないでください。

※収納箱に入れた場合のイメージです。

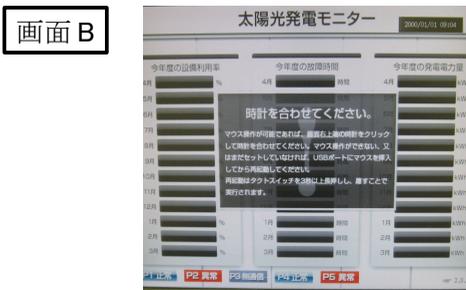


5 時計合わせの設定

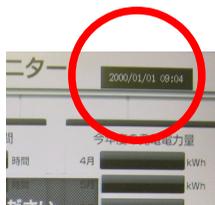
1. Solar Link ZERO 本体に電源アダプタを差し込みます。自動で電源が入り、LED ランプ (赤・緑) が点滅・点灯します。

2. モニタに、[画面 A] (起動中画面) が表示されます。しばらく待つと、[画面 B] (「時計を合わせてください」) が表示されます。

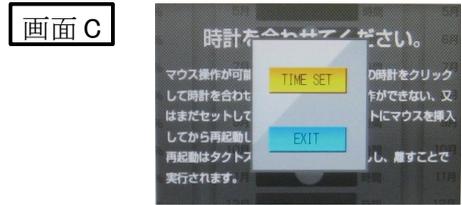
([画面 B] が表示されない場合、手順「8」へお進みください。)



3. マウスを操作して、画面の右上にある時計をクリックします。



4. [画面 C] が表示されます。「TIME SET」をクリックします。



5. [画面 D] が表示されます。表示されている日時を [Clear] ボタンをクリックして消去します。現在の日時を年 月 日 時 分の 12 桁で設定します。

例) 2012 年 10 月 30 日 9 時 10 分の場合、「201210300910」。



6. 日時を入力したら、「Set」ボタンをクリックします。

7. 「Exit」ボタンをクリックします。マウスを Solar Link ZERO 本体から外します。

8. [画面 E] (発電データ画面) が表示されます。少し待って、データが表示されることを確認します。



9. Solar Link ZERO 本体のタクトスイッチ (黒いボタン) を 2 回押して、計測表示画面に切り替えます。

計測の確認 P.12 へ

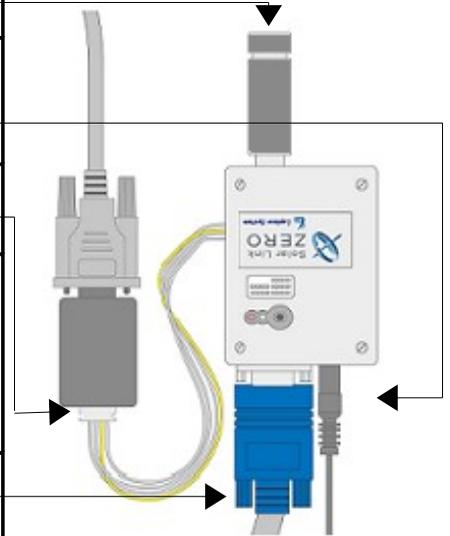
6 計測の確認

最後に、正しく計測と表示が行われているかを確認します。

6.1 Solar Link ZERO 本体への接続の確認

Solar Link ZERO 本体に各機器・ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

専用 USB メモリ(必須)	<input type="checkbox"/> 正しく接続されていますか？
Solar Link ZERO 本体 専用電源アダプタ (必須)	<input type="checkbox"/> 正しく接続されていますか？
RS232C 変換ケーブル (必須)	<input type="checkbox"/> 正しく接続されていますか？
LAN ケーブル	【構内 LAN を利用する場合】 <input type="checkbox"/> 正しく接続されていますか？ 【構内 LAN を利用しない場合】 <input type="checkbox"/> Solar Link ZERO 本体から取り外されていますか？
RGB ケーブル	【ディスプレイ表示をする場合】 <input type="checkbox"/> 正しく接続されていますか？ 【ディスプレイ表示をしない場合】 <input type="checkbox"/> Solar Link ZERO 本体から取り外されていますか？



6.2 画面表示の確認

下記いずれかの方法で、画面を表示させてください。

(計測のみを行う場合も、計測が正しく行われているかを確認するためには画面表示が必要です。)

【現地にディスプレイがある場合】

ディスプレイ上に、画面が表示されていますか？

【構内 LAN を利用して、Web アプリケーション画面を閲覧する場合】

構内 LAN 上の PC から、Web アプリケーション画面を閲覧することができますか？

6.3 計測の確認



(左図はディスプレイ上の表示例)

各数値は適切なものが表示されていますか？

以上で Solar Link ZERO 本体の設置・接続は終了です。

7 トラブルシューティング

Solar Link ZERO 本体に接続されたディスプレイに、どのような画面が表示されているかをご確認ください。
※本ページで解決しないときは、「トラブルシューティング」(別紙:「取扱説明書」)もご覧ください。

7.1 データ欄が「---」、または「P1 無通信」アイコンが表示されている

計測表示画面が表示されている状態で、データの数値が表示される欄に「---」と表示されている場合、または、画面上に「P1 無通信」というアイコンが表示されている場合を示しています。

● パワーコンディショナーの電源は投入されていますか？

パワーコンディショナーの電源が入っていないと、計測値が表示されません。

● 信号線のプラス・マイナスの接続が逆になっていませんか？

Solar Link ZERO本体の端子台に接続された、パワーコンディショナーからの信号線のプラス・マイナスが正しいかをご確認ください。

※RS485通信ケーブルがLANケーブルの場合、ケーブルを直接Solar Link ZERO本体のLANポートに接続しないようにご注意ください。

● パワーコンディショナーのアドレス設定はされていますか？

パワーコンディショナーのアドレス設定が正しいかをご確認ください。

(安川電機製パワーコンディショナー・オムロン製パワーコンディショナーの場合は下記参照)

● 安川電機製パワーコンディショナーの場合

下記の設定をご確認ください。

【1台の場合】

パワーコンディショナーのアドレス番号を、「01」に設定する必要があります(初期設定は「1F」)。
具体的な手順はパワーコンディショナーの取扱説明書をご確認ください。

【2台以上の場合】

パワーコンディショナーのアドレス番号を、1台目から「01」、「02」…と設定する必要があります(初期設定はすべて「1F」)。
具体的な手順はパワーコンディショナーの取扱説明書をご確認ください。

● オムロン製パワーコンディショナーの場合

下記の設定をご確認ください。

KP55F で、2台以上接続している場合：
1台目から、01、02と設定してください。

● 信号線が断線していませんか？

信号線が途中で断線していないかをご確認ください。

特に、RS485通信ケーブルがLANケーブルの場合、

LANケーブルを作成する途中で断線してしまった例が多く報告されています。ご注意ください。

改訂履歴

バージョン	内容	発行日	対応ソフトウェア
3	初版(ソフトバージョンとあわせる為 3.0 とする)	2011/09/14	Ver. 3

著作権について

本ソフトウェア、Web アプリケーション、施工説明書及び取扱説明書の著作権は株式会社ラプラス・システムに帰属します。株式会社ラプラス・システムの許可なく、内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。

お問い合わせ先

株式会社ラプラス・システム

お電話でのお問い合わせ

TEL:075-634-8073

コールセンターまでお問い合わせください。

弊社 HP からのお問い合わせ

URL:<http://www.lapsys.co.jp>

「お問い合わせ」フォームをご利用ください。

- Microsoft, Windows, Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本説明書で登場するシステム名、製品名、ブラウザ名、サービス名は、各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- 本説明書中では TM、R マークは明記していません。
- 本説明書の内容を無断で転載することを禁じます。
- 本説明書の内容は改良のため予告なく変更される場合があります。

株式会社ラプラス・システム

〒612-8362

京都府 京都市伏見区 西大手町 307-21

TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832